

の個人課題研究では宗教的な観点からキリスト教の天国と地獄を自分なりに描き出したいと考えました。1年間でまとめる方法として、ルネサンス期に絞り、また絵画と文学という二つの側面から同じ「地獄」を比較するために、ダンテの「神曲」と、数ある「最後の審判」の中から特に疑問点の多かったハンス＝メムリンクの「最後の審判」を題材にしました。当然のことながらダンテの「神曲」は全編詳細に読解し、解説書の多くをあたり、当時のダンテやハンス＝メムリンクのおかれていた状況を知るために多くの歴史資料を調べました。さらに絵画の方も西洋絵画の解説書を多くあたり、描かれている象徴の意味する部分を解釈していきました。実際にオランダまで絵画を見に行き、自分の目でも確認してきました。そこから、ダンテは教皇絶対崇拝や教会至上主義を批判して作品を完成させたことがわかり、ハンス＝メムリンクはトンスラ姿の聖職者を地獄で業火に焼かせ、いきいきとした表情の市民を天国で前面に描き、「最後の審判」というキリスト教では非常に重要な教義を描く中で当時の墮落した教会権威に対する強い皮肉を盛り込んだということがわかりました。岩澤さんは、とても充実感と達成感のある1年間だったと振り返っています。



楠見研

今回発表のあった、異色の研究です。

伊藤 宗麿 君

ダチョウの全体骨格標本作製

C 会場・生物学環境学関連分野、
指導：楠見清志先生

伊藤宗麿君は、石岡市のダチョウ王国から死んだダチョウを入手、一夏かけて肉を完全に剥離し、骨の油を抜き、漂白して組み立てて本物の骨格標本を完成させました。現在、高校校舎に展示されています。見学にいらした際は、この大人の身長ほどある骨格を間近でご覧になってください。

Meikei Method - STUDY SKILLS 新版完成！

このコラム「茗溪学園の Study Skills 教育」の掲載内容全てをまとめた冊子の新版が完成しました。無料でお送りしますので、ご希望の方は、下記までどうぞ。

kouhou@meikei.ac.jp または info@infoe.com

山本ゼミ

もうひとつの社会科学分野中心の「山本ゼミ」。公民科の山本茂先生が指導する有名ゼミです。このゼミからは今まで数々の名論文、名研究が生まれてきました。

陳 雅絵 さん

ワーキングプアを通して日本の貧困を考える

E 会場・経済学分野、指導：山本茂先生

陳雅絵さんの研究で優れているのはワーキングプアに関する告発書や専門書をたくさん読み込んだのは勿論、フィールドワークの充実ぶりです。「現代の貧困問題と憲法」というシンポジウムへの参加、憲法フェスティバルへの参加、東京法律事務所への訪問、さらにワーキングプアを解明するために現状を可視化するための方法として「年越し派遣村」を運営したNPO 法人自立生活サポートセンターの「もやい」を何度も訪れ、事務局長で内閣府参与にもなっている湯浅誠氏から多くの聞き取り調査を行った点です。現象面、法律面、政策面とともに、直面している実態にも鋭く切り込んだ優れた研究になりました。

大村 裕太郎 君

日本企業の珠江デルタ進出

～その歴史と未来～

E 会場・経済学分野、指導：山本茂先生

大村裕太郎君は香港日本人学校中学部を卒業した高校入学寮生ですが、香港に住んでいた頃から関心のあった日本企業の中国進出をテーマにしました。チャイナリスクと外延化の現状を詳細に調べ、日系華南進出企業が直面する問題と、今後起こりうる移転進出先候補、来料加工制度、中国中央政府の意図など多面的に考察しました。文献研究だけでなくJETRO、Anchor HRM Consulting、深圳テクノセンターを訪問し、取材して論文を仕上げました。



前回の田代ゼミ員の発表内容の紹介に引き続き、今回は田代先生以外の先生方が指導された「個人課題研究」発表の紹介です。

いかがですか？ 田代ゼミ同様、他のゼミの生徒も素晴らしい研究をしているのがお分かりいただけましたか。もちろん、その生徒を指導しておられる先生方の努力も。これが、茗溪の個人課題研究です。

ここで紹介された研究テーマの広がりや掘り下げの深さに感心します。また、その視点の高校生らしいユニークさと指導される先生の力量にも！

個人課題研究の成果は、茗溪生一人ひとりの努力の賜物です。忙しい高校2年生の生活の中で、ゼミ出席・資料読破・研究者訪問、時には大村くんのように現地を訪問しての研究です。彼らのこの貴重な体験が、今後の進学・大学での学習研究、さらに将来の職業の選択に大きな影響を与えることは間違いありません。（拍手！！）